

## 研修利用の充実事業

### 「第2回利用団体のための体験活動研修会」

#### 1. 趣旨

国立赤城青少年交流の家を利用する団体の引率者が、施設の利用方法、野外炊事、創作活動の内容を理解するとともに、実際に活動を体験することで安全に活動するためのポイントを確認する。

#### 2. 事業の概要

##### (1) 期日

令和3年5月15日(土)

##### (2) 参加者

①参加対象 令和3年度利用団体(主に6~11月)で、活動プログラムの体験を希望する各団体の引率者

②参加人数 24名(13団体)

③参加者の内訳 小学校3名、中学校15名、ボーイスカウト6名

#### 3. 企画運営のポイント

①野外炊事の準備から片付け・点検までの一連の活動やクラフトを体験することで、当日の指導上の留意点を確認できるようにする。

②施設見学では、所内を実際に歩き、使用方法や新型コロナウイルス感染症対策などのポイントを具体的に伝える。

③利用団体毎に当日の活動に即した対応ができるよう、事前打ち合わせの時間を設ける。

④YouTube動画配信サービスを行い、希望団体には研修会当日の内容を要約した動画を配信し、参加できない利用者にも活動内容を理解できるようにする。

#### 4. 日程

	午前	午後
5月15日 (土)	開会行事 施設見学 施設利用説明 野外炊事	選択プログラム (ネイチャークラフト、焼き板、 スプーン・フォーク、葉っぱで作ろう) 事前打ち合わせ

#### 5. 主な活動内容



「野外炊事説明」



「野外炊事」



「衛生対策」



「防災食①」



「防災食②」



「選択プログラム」

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果（21名回収）

満足17名（81%） やや満足4名（19%） やや不満0名 不満0名

### (2) 参加者の声

- ・林間学校前に自分が体験することは、とても大切だと感じました。
- ・体験させて頂けるので、子どもたちに説明しやすいです。
- ・コロナ対応についても、説明が丁寧にされていてよかったです。
- ・活動がスムーズに進んで時間が早まった際は、時間を繰り上げてくれると助かります。接触の機会が短縮されるのと、遠方から来ている人にとって帰りの時間の確保に繋がります。
- ・説明だけでなく、個々に細やかなことも含め指導していただき、とてもありがたかったです。気軽に質問してもすぐ答えてくれました。
- ・選択プログラムの動画や説明が分かりやすかったです。簡単に作れて小学生にも喜ばれそうです。
- ・YouTubeなど、動画で活動や様子が分かるためとても良いと感じました。ゴミの片づけ方など、細かいところまで準備されており、事前指導に役立てさせたいです。
- ・野外炊事も選択にするとよいと感じました。時間設定をもっと柔軟に変更してほしいです。無駄な時間ももったいなかったです。

### (3) 成果

- ①参加者から「体験したことで指導への不安がなくなった。」「選択プログラムの動画や説明が分かりやすかった。」という声が多かった。交流の家に来所して、活動を指導者自らが体験することで、当日の活動時の指導のイメージや留意点を把握し確認することができたからだと考える。
- ②施設見学では、見学場所を厳選したことで効率的に見学することができた。施設利用の仕方や新型コロナウイルス感染症対策について具体的に説明することにつながった。

### (4) 課題

- ①活動プログラムが、予定時間よりも早く終わってしまい、選択プログラムの終了時間がまちまちになったので、その後の事前打ち合わせの時間で待つ団体もいた。活動内容の組み合わせ方や実施する活動内容や会場を再考する必要がある。例えば、選択プログラムそれぞれの活動場所を近くに設定し、早く終了した方には他の活動を見学できるようにする。また、それぞれのプログラムの活動時間と終了時間の統一を徹底させ、活動が終わらなかったものは、持ち帰って作業するように促す。
- ②野外炊事では、時間短縮のため、かまど班と調理班に分けて活動を行った。かまど班の活動が早く終わり手持ち無沙汰になってしまった。野外炊事体験時間が予定より早く終わったことを考えると、かまども調理も参加者全員に体験していただく方が、当日の指導により生かせるので次回は両方体験に変更する。

担当 企画指導専門職 渡邊 秀幸